

様

医師・歯科医師緊急アピール賛同のお願い

“2度と戦争で白衣を血で染めさせない”安保関連法案反対！7/8記者発表

憲法審査会で全参考人が
安保法制は「違憲」

■ 仲間の国を助けるために海外に戦争に行く集団的自衛権は憲法違反。

■ (戦闘が行なわれていない現場の) 軍への物資補給は露骨な戦争参加。

■ 国際的には“後方支援”＝兵站 (Military Logistics) であり、医療も含まれ、医師も戦争に引きずり込まれることとなります。

政府が集団的自衛権の行使容認の閣議決定 (2014年7月) を具体化させる「安全保障関連法案」が今国会で審議されています。この法案が成立すれば、時の政府が判断すれば、自衛隊を世界中に派遣することができるようになります。今回の法案は、思想・信条に関わらず、多くの人が「おかしい」と声を上げています。6月7日には大阪弁護士会主催の法案に反対する集会も開かれています。

大阪府保険医協会は、国民の命を守る医師・歯科医師として、“2度と戦争で白衣を血で染めさせない”ため、「安全保障法案は廃案に！医師・歯科医師緊急アピール」を7月8日 (大阪弁護士会館) で発表しました。ぜひご賛同下さい。

当日は白衣の宣伝行動を淀屋橋で行いました

緊急アピール賛同記入欄 (ゴム印でも結構です) FAX 06-6568-2389

私たち医師・歯科医師は「安全保障関連法案」に反対です。

住所

医療機関名

氏名

ひと言欄